

# 記念館だより

2022 年月 2 号

## 「このはなのように」

加藤 輝勢子

2022 年になり、早ひと月が過ぎました。今年はあるができるかもとか、こんなことがしたいとか思ったのもつかの間、私たちはオミクロン株の脅威にさらされています。感染力が強いということも理解します。そしてそのことが身近になってきています。しかし、今までよりは重症になりにくいと言われてはいますが、電車などで咳をしている人を見ると、大丈夫かなと思う気持ちもあります。インフルエンザも感染はするのですが、予防接種をしていれば安心できましたし、感染しても重症にならないという感じがありました。オミクロン株に対しても、できることは今までと同じなので、「正しくおそれ、正しく予防する」ことが大切だと思います。本所賀川記念館でも子どもの活動もそうですが、各場面においても予防を徹底して日々の歩みをしていきます。

話は変わりますが、私はこの時期に咲く「沈丁花」という花が好きです。この花は出会うより先に花の香りで存在を気づかせてくれます。とっても良い香りです。そばを通ると元気が出てきます。

記念館では月一回、子ども礼拝をしています。お話を酒井牧師がしてくださいます。

そして子ども讃美歌を歌っていますが、奏楽者は嶋田さんという方で教会のパイプオルガンを練習しに来ている方です。いつも子ども礼拝の時に前奏から讃美歌、後奏まで引いてくれます。記念館の子どもたちは厳（おごそ）かな雰囲気の中でパイプオルガンの音色に合わせて歌っています。1月は「このはなのように」を歌いました。

このはなのように おひさまをあびて  
すくすくそだつ こどもにしてください

このはなのように みんなのところに  
やさしくかおる こどもにしてください

このはなのように かみさまのあいを  
そっとあらわす こどもにしてください

『子ども讃美歌改訂版』 115 番

この讃美歌の「この花のように」の花を皆さんならどのような花を思い浮かべますか。ユリやバラ、いろいろな花をイメージすると思いますが、私はこの時期は、やはり沈丁花です。この時期、花にも元気をいただきますが、毎日、来室してくる子どもたちは花の香り以上に元気を振りまいてくれています。感謝。

# 学童クラブ



年末にみんなで学童クラブを大掃除し、清々しい気持ちで新年を迎えました。子どもたちは自主的に漫画やおもちゃの位置を書いて張り出して、今後のお片付けもしやすくなりました。

1月7日（金）には、冬のお出かけとして歩いて本所防災館に行きました。館内では、まず地震についての映画を観ました。初めは怖がっていた子もいましたが、可愛いアニメーションで描かれていて「これなら見られそう」と話してくれました。

インストラクターの方からお話を聴くときには、子どもたちは次々と疑問が出てくるようで「そのカーテンって防火品？」や“おかしも”って何？」などと積極的に質問をしていました。子どもたちが普段あまり使わない防災の言葉を知っていることやインストラクターの方のお話を理解しようとしている姿に感心しました。  
(柳田)

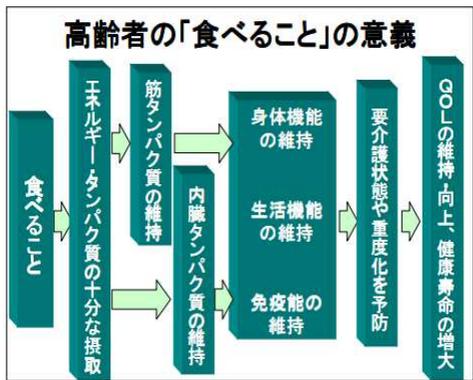
地震、消火、煙、都市型水害の体験をしながら防災について学びました。普段できない体験に子どもたちは心を躍らせていました。今回はできなかった体験や見られなかったコーナーもあり、「もっとやってみたい!」、「また行きたい!」と関心を高めていました。

## コスモス会

近頃はコロナウイルスの影響から、お出かけはできるだけ控えていると思います。コスモス会で配食している方々も、同様のようです。食べることはますます楽しみのひとつになっているのではないのでしょうか。

下の表をご覧ください。

高齢者の「食べること」の意義



(加藤昌彦、一部改)

食べることは単に「楽しい」だけでなく、「よりよく生きる」ことにつながるんですね。コスモス会の役割もそこですね。  
(針谷)

## 記念館トピック



### 【賀川研究会】

『戦後キリスト教の道標—賀川豊彦と戦後天皇制—』をテキストに学びます。

2/24 (木) 19:00～

本所賀川記念館3F ホール

※ 新型コロナウイルスの拡大状況によっては延期となる場合があります。

## 美術教室

第1～3週水曜日 15:00～17:00

講師：亀田谷亜礼先生



子どもたちみんな、想像のままにのびのびとお絵描きや工作を楽しんでいる美術教室です。

※ 新型コロナウイルスの拡大状況によっては延期となる場合があります。

## ピアノ教室



毎週月曜日

講師：土屋 紘枝先生

保育園から小学校高学年のお友だちまで、それぞれ目標を設けてピアノの練習を楽しんでいます♪